

2024年10月頃 リニューアル・ オープン予定

貸館情報

リニューアル・オープン後、2025年1月～3月の教育利用展示室貸出、一般利用展示室貸出を再開します。
受付期間、申込方法などの最新情報は、2024年8月頃にうらわ美術館ホームページにてお知らせします。詳しくはお問い合わせください。

※上記予定は都合により変更になることがあります。予めご了承ください。

うらびグッズ

うらわ美術館教育普及用キャラクター「うらび」のトートバッグを販売しています。
リニューアル・オープン後、ぜひご覧ください。



ナチュラル白バッグ
W260×H330mm
(本体サイズ)



黒地バッグ
W340×H260×マチ100mm
(本体サイズ)

利用案内 (詳しくはお問い合わせください)

※リニューアル・オープン後の案内となります

- 開館時間
午前10時～午後5時、金曜日・土曜日のみ～午後8時
展示室への入室は閉館30分前まで
展覧会によって異なる場合があります
- 休館日
月曜日 (月曜日が祝日の場合は翌平日)、展示替え期間、休館期間
(9月頃まで空調設備改修のため休館中。その他、臨時に休館することがあります)
- 観覧料
展覧会によって異なります
・20名以上は団体割引
・障害者手帳をお持ちの方および付添いの方1名は半額
・観覧済の有料観覧券の提示により、リピーター割引 (団体料金。観覧日から1年以内、1名様、1回限り有効)
・教育課程に基づく学習活動の減免についてはお問い合わせください

交通案内

- 電車利用
JR京浜東北線、高崎線、宇都宮線、湘南新宿ライン、上野東京ラインで浦和駅下車。西口から徒歩7分
- 車利用
東北自動車道 (浦和出口から9km)、首都高5号池袋線・埼玉大宮線 (浦和南出口から4km)、外環自動車道 (三郷方面より外環浦和出口から5km、大泉方面より戸田西出口から7km)
当ビル地下の公営駐車場 (有料) をご利用ください

Information

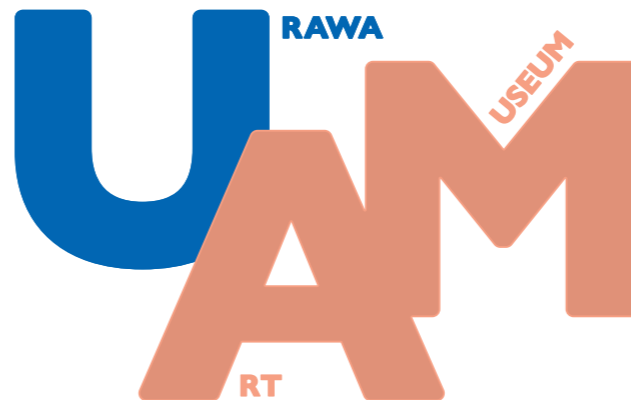
Museum Hours: 10:00 am-5:00 pm
(Open until 8:00 pm on Fridays and Saturdays)
* final admission 30 minutes before closing
Closed: Monday (in case of holiday, next weekday), Exhibition Preparation Period, temporary closure periode
Admission Fee: Special exhibitions; Different for each exhibition
Address: Urawa Century City 3F, 2-5-1 Naka-cho, Urawa-ku, Saitama-shi, Saitama, Japan 330-0062
Telephone: +81-(0)48-827-3215 **Fax:** +81-(0)48-834-4327



〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-5-1 浦和センチュリーシティ3F
TEL 048-827-3215
FAX 048-834-4327
URL <https://www.city.saitama.jp/urawa-art-museum/>
e-mail urawa-art-museum@city.saitama.lg.jp

※掲載内容は都合により変更になることがあります。予めご了承ください。

令和6年3月 うらわ美術館発行
この印刷物は、10,500部作成し、1部当たりの印刷費は28円 (概算) です。



令和6年度

うらわ美術館

スケジュール

THE 新版画
版元・渡邊庄三郎
の挑戦

沖潤子展：
うらわ美術館新収蔵品
《シクラメン2》
を中心に

SCHEDULE 2024.4 » 2025.3



休館のお知らせ

館内空調設備の改修のため、2024年9月まで休館しています。再開は2024年10月を予定しています。
最新情報は、うらわ美術館ホームページにてお知らせします。詳しくはお問い合わせください。

ホームページ

休館中の情報やご家庭でもアート鑑賞を楽しむことのできるコンテンツも発信しています。

ぜひアクセス
してね!



うらび



▲教育普及事業

出張授業

市内学校を中心に、気軽にアートに親しめるような授業を休館中も行っています。
※学校向けに、造形的な本や埼玉アートカードセット等の鑑賞ツールの貸出も行っています。



本の出張授業の様子

11.16.Sat » 2025.1.19.Sun

多世代交流ワークショップ

>>> 8月中の1日
(他施設で行います)

子どもから大人まで、世代を超えて一緒に鑑賞や創作を楽しみます。

●事前申込み(7月頃募集、抽選)・参加無料

自分の見方だけでなく、
様々な見方、考え方を
知ることができた!

新たなアートの楽し
み方を見ることができた!

様々な世代と交流す
ることで、自らの感
性も刺激を受けた。



R5年度の様子

本のワークショップ

>>> 9月中の2日間
(他施設で行います)

造本作家に教わりながら、本格的な手製本で自分だけの一冊をつくります。

●事前申込み(8月頃募集、抽選)・材料費要

新しい経験ができて、
とてもうれしかった!

本格的な製本ができて
良かった!

一枚の紙を折るなど
して、それが本になる。
とても感動した。



R5年度の様子

※吹き出しのコメントは過去のワークショップの参加者アンケートの回答から抜粋しています

※詳細についてはチラシや当館ホームページでお知らせします

THE 新版画 版元・渡邊庄三郎の挑戦

THE SHIN-HANGA: The Great Endeavor of WATANABE Shōzaburō

約1年にわたる長期休館後のリニューアル・オープン企画として、近年注目を浴びている「新版画」に着目した展覧会を開催します。

渡邊庄三郎(1885-1962)は、江戸時代に確立された浮世絵木版画(錦絵)の高度な彫りの技術やバレン摺りが生み出す特有の美しさに魅了され、伝統的な浮世絵の技術と新しい絵画表現との融合を目指しました。明治42年(1909)、東京・京橋に渡邊版画店(現・渡邊木版美術画舗)を構え、浮世絵の研究や販売を行う傍ら、大正4年(1915)から、来日していた外国人画家作品の版画化を試み、錦木清方門下生ら新進気鋭の画家たちを絵師として起用します。高品質な材料、優れた技術を持つ彫師や摺師、そして庄三郎の創意工夫と優れた審美眼により、新たな浮世絵木版画となる「新版画」を世に送り出すことに成功します。

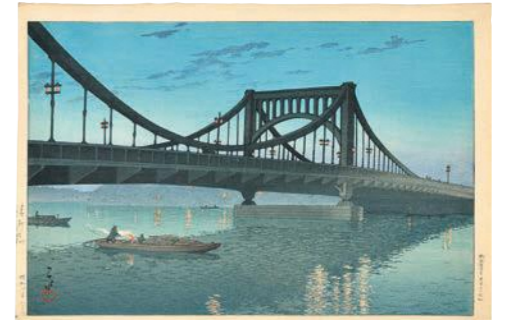
本展では、庄三郎の精神を今なお受け継ぐ渡邊木版美術画舗の全面的な協力のもと、残存数が少なく貴重な初摺の渡邊版をとおして、庄三郎の挑戦の軌跡を辿りつつ、モダンな精神と華麗な表現に彩られた「新版画」作品の数々を紹介します。



橋口五葉《浴場の女》大正4年(1915)



フリッツ・カベラリ《石榴に白鳥》大正4年(1915)



川瀬巴水《清洲橋》昭和6年(1931)

※3点とも渡邊木版美術画舗蔵

ギャラリー D

沖潤子展：うらわ美術館新収蔵品
《シクラメン2》を中心に

OKI Junko "Cyclamen 2" from the Urawa Art Museum Collection

国内外で精力的に作品を発表するなど、近年高い関心が寄せられている美術家・沖潤子(旧浦和市生まれ)。従来の刺繍という概念には収まらない、沖の特異な創作活動について紹介します。



沖潤子《シクラメン2》2022年 45.2×40.3×9.7cm
令和5年度うらわ美術館収蔵

さいたま市民大学

[生涯学習総合センター・うらわ美術館連携コース]

それぞれの展覧会の内容にあわせて美術Ⅰ・Ⅱ
コースを開設します。



詳しくはこちら▶